

事業計画書

第3期（創業期）

2024年10月1日

一般社団法人みかん箱

事業使命（ミッション）

こどもの学習および体験に関して、その意欲および機会の喪失ならびに格差の解消を図り、もって子どもの自己肯定感を高めること。

事業目的

- 就学している主に未成年者が安心して過ごせる居場所となる施設を運営する
- 挫折や失敗を繰り返せる機会、偶発的な体験や学習ができる機会を提供する
- ナナメの関係、インフォーマルな関係で、他者と交流を図る機会を提供する
- 自己肯定感、人や社会と関わる力など、将来の自立に向けた力を育む

役員紹介

代表理事 佐々木 悟

社会医療法人道南勤労者医療協会稜北クリニック 院長
労災医療の専門家として地域医療に従事する傍ら、若者の起業支援や後進の教育指導に力を入れている。社会医療法人道南勤労者医療協会前理事長。2024年6月から現職。みかん箱では子ども・地域・安心をテーマに事業に取り組む。非常勤。

理事 秋山 慎一郎

秋山電気設備 代表
社会福祉施設における電気工事の実績多数。学校のPTA会長の経験から、子どもたちが抱える課題の解決に心を砕いてきた。みかん箱では安全・安心の施設作りに取り組む。非常勤。

理事 曾我 直人

株式会社ヒトココチ 代表取締役
一般社団法人ワールズ・ミート・ジャパン 代表理事
学童クラブひのてんを含め、市内3か所の放課後児童クラブを運営。子どもたちが本当に面白いと感じるできごとを探求してきた。みかん箱では教材・プログラム開発に取り組む。常勤。

取扱商品・サービス

(取扱商品・サービスの内容)

- 会員制の居場所「みかん箱」の運営
(函館市末広町9-9 カルチャーセンター臥牛館)
- 「こどもがいくところ・おとながいるところ」
- こども会員のうち小学生は、学びの探求塾で授業理解の手助け (ティーチング)
- 中学生は、ベースキャンプで目標達成に向けた支援 (コーチング)
- 高校生は、ベースキャンプで自己を確立 (カウンセリング)
- おとな会員、主に短大生・大学生によるボランティア活動
- 地域交流イベント「オープンみかん箱」の実施
- 飲食店の経営
- 協賛金、寄付金の募集

(セールスポイント)

- 学習支援や体験活動に関する実績をもとに、「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指す
- 「学び・出会い・感動を繰り返して、人生を豊かにする」みかん箱メソッドに基づく実践を行う
- 元教諭、海外留学経験者、音楽実演家など、豊かな経験をもつスタッフがかかわる
- 地域資源や人材を活かした体験および偶発的な学びを実現する
- 日本財団「子ども第三の居場所」コミュニティモデルとして運営中
- 2025年度函館市中学生学習支援等事業に入札予定

(販売ターゲット・販売戦略)

- 函館市立青柳・弥生・あさひ小学校の児童
- 学童クラブ「ひのてん」に通所する児童
- ユニークな学習塾を求めている保護者
- 授業についていけないなど、課題を抱える児童生徒の保護者
- こども会員は小学生から高校生まで (または18歳未満)
- インターネットおよび口コミ、チラシによる募集
- 関係者・関係機関による紹介

(競合・市場など法人を取り巻く状況)

- 進学塾とは異なり、子どもの居場所となる時間と空間 (機能) を提供する
- アフタースクール (小学校における放課後の学習支援) とは異なり、教科書以外の題材も扱い、学ぶことの楽しさを実感してもらう
- 図書館、公共施設の学習スペースとは異なり、落ち着いた学習環境で、その児童にあわせた学習支援 (必要に応じて生活に関するアドバイス) を行う
- 既存の施設や事業とは異なるポジショニングにより、新しい市場を生み出す

取引先・取引関係等

- 日本財団2024年度子ども第三の居場所 採択
- 日本財団2025年度子ども第三の居場所 申請予定

従業員

- 常勤役員数：1人
- 常勤職員数：1人
- 非常勤職員数：8人
- ボランティア数：5人
- 人件費の支払：末日締翌10日支払

事業内容

□ 学びの探求塾「みかん箱」

- 主に小学生対象
- 学ぶことに楽しさを見つけ、自ら学ぶ力や、じっくりと考える力を身につける
- ①少人数制 ②授業理解 ③楽しさ実感 ④比較からの解放 ⑤じっくり考える力
- 教育・福祉に関する資格免許等を持ち、こどもの「知りたい」をサポートするスタッフによる授業
- 原則として月曜、水曜、金曜の開講
- 学年に応じて40から60分間の授業

□ ベースキャンプ「みかん箱」

- 主に中高生対象
- まだ見ぬ未来へみんなと一緒に
- 会員が主体となって創作・表現・体験活動を進めるクラブ
- 計画段階で見つかる課題や困難に対して、大学生やおとなが一緒になって考える
- 「コアタイム」では自学自習、レクリエーション、本づくりなどを行う
- 原則として火曜、水曜、木曜の開講
- 放課後から午後7時まで
- 「はらごしらえ」「まかない夕食」を提供

□ おひるごはんカフェtaom

- タオムはウズベク語で「日常のごはん」
- 旬の野菜がうれしい、おひるごはんがメイン
- からだに優しいスイーツやドリンクを提供

□ スカイルーム

- 美しい函館湾を一望できる会議室
- 主に会員が利用
- 本来事業に差し支えない範囲で貸室も可能

借入状況

借入先名	使いみち	借入残高	年間返済額
個人	事業（運転資金）	1,000千円	0円

必要な資金とその調達方法

必要な資金		見積先	金額	調達の方法	金額
設備資金 ・建物の改修 ・外構の改修 ・通信設備工事 ・備品の購入 ・車両の購入	店舗、車両など（内訳）		0円	自己資金	0円
				友人知人等からの借入	0円
				金融機関からの借入	0円
				基金の募集	0円
				その他（内訳） ・事業収益 ・日本財団「子ども第三の居場所」助成金	11,860千円
運転資金 ・人件費 ・消耗品費	商品仕入、経費支払資金など（内訳）		10,865千円		
合計			10,865千円	合計	11,860千円

事業の見通し（月平均）

	創業当初	軌道に乗った後 （2025年9月頃）	積算根拠等	
収益①	708千円	730千円	2026年4月からの年間収益 ・補助金または委託費2,800千円 ・寄付金収入1,200千円 ・会費等事業収入3,618千円（会員数60人）	
事業原価②	0円	0円		
経費	人件費	426千円		560千円
	家賃	0円		0円
	支払利息	0円		0円
	その他	213千円		150千円
	合計③	639千円		710千円
正味財産 ①-②-③	69千円	30千円		